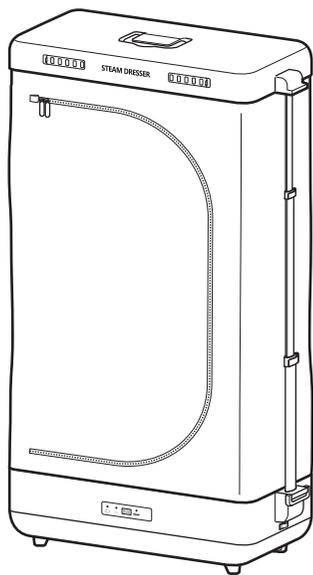


スチームドレッサー ASD-1201

取扱説明書【保証書付】

ご使用前に本書を必ずお読みください。

※ ご使用前に付属品・部品などが揃っているかご確認をお願いいたします。本製品は、厳重な品質管理と検査をして出荷しておりますが、万一欠損、欠落等ございましたらご購入後 1 か月以内に、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」までお問い合わせ頂けますようお願いいたします。速やかに無償で送付させていただきます。



このたびは、スチームドレッサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
なお、この取扱説明書には保証書が付いています。
お読みになられたあとも、大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1～4
使用上のお願い	
知っておいていただきたいこと	5
各部のなまえ	6～7
組み立てかた	8～9
使いかた	10～15
（ご使用前の準備	10～12）
スチーム&	
ドライモードで使う	13～14
ドライモードで使う	15
お手入れのしかた	16～19
（通常のお手入れ	16）
汚れやにおいが気になるときは	17
各部のお手入れ	18～19
収納のしかた	20～21
保管のしかた	22
故障かな？と思ったら	23～24
仕様	25
別売品について	25
アフターサービスについて	26

安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明



警告

「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷^{*1}を負うことが想定されること」を示します。



注意

「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害^{*2}を負うことが想定されるか、または物的損害^{*3}の発生が想定されること」を示します。

- *1：重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- *2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- *3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



禁止

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。

具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



指示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。

具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



注意

△は、注意を示します。

具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告



分解禁止

分解・修理・改造はしない

感電・火災・けが・故障の原因になります。修理はお買い上げの販売店または裏表紙に記載のアルファックス・コイズミ株式会社「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。



指示

ぐらつきや傾きがない、水平で安定した場所で使用する

不安定な状態で使用すると転倒し、けがや破損の原因になります。



禁止

本機を傾けない

タンクや本体内部の水がこぼれると、ショート・感電の原因になります。



禁止

タンクに水を入れすぎない

水を入れるときは、一番上の目盛り（1200ML）を超えないようにしてください。タンクの水がこぼれると、ショート・感電の原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電・けがの原因になります。



指示

電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う 延長コードを使用したり、テーブルタップなどによるタコ足配線をしてはならない

交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと、火災・感電の原因になります。



指示

電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着している場合は拭き取る

ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。



禁止

以下のような場所に設置したり保管したりしない

- ・不安定で強度が弱い場所
- ・極度に高温または低温となる場所
- ・結露が発生しやすい場所
- ・湿度が高い場所や水がかかる場所
- ・暖房器具、テレビなど電子機器の近く
- ・製品とその周囲に適切な距離を取れない場所（P.5「設置場所について」参照）

(警告つづき)

 <p>人は本体内に入らない やけど・けが・破損などの原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。</p>
 <p>使用中は布カバーを開けない 高温のスチームなどでやけどをする原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>すき間に金属物(ピンや針金など)などの異物を入れない 感電や、異常動作してけがの原因になります。</p>
 <p>使用中や使用後しばらくは高温部に触れない やけどの原因になります。</p> <p>接触禁止</p>	 <p>蒸気吹き出し口や風吹き出し口にピンやごみを付着させない ショート・絶縁不良・発火・感電の原因になります。</p>
 <p>使用中、蒸気吹き出し口や風吹き出し口に顔や手を近づけない やけどの原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因になります。</p> <p>水濡れ禁止</p>
 <p>使用中は本体を動かさない タンクや本体内部の水がこぼれると、ショート・感電の原因になります。また、転倒してけがややけどの原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>製品の上に物を載せない 落下・転倒によるけがの原因になります。</p> <p>禁止</p>
 <p>電源プラグを乳幼児が誤ってなめないようにする 感電・けがの原因になります。</p> <p>指示</p>	 <p>カーテンやその他可燃物の近くで使用しない 可燃物からは50cm以上離してください。</p>
 <p>電源プラグはコンセントの奥までしっかり確実に差し込む 感電・ショート・発火の原因になります。</p> <p>指示</p>	 <p>落下させるなどにより、本体に損傷や水漏れがある場合は使用しない 発火・感電の原因になります。</p>
 <p>電源プラグを清潔にする 刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る ショート・火災の原因になります。</p> <p>指示</p>	 <p>タンクや本体内部のお手入れに塩素系・酸性タイプの漂白剤や洗剤は使用しない 洗剤が残り、有毒ガスが発生したり、故障の原因になります。</p>
 <p>電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>	

安全上のご注意

(警告つづき)

 <p>禁止</p>	次のものを入れない ・人やペットなどの動物 ・電気製品 ・消臭剤や芳香剤 ・お香などの火気 人や動物がやけどをしたり、電気製品や芳香剤が過熱して故障や発火、感電の原因になります。	 <p>禁止</p>	収納庫として使用しない 長期間ハンガーに衣類などを掛けたまま保管しないでください。 故障や転倒によるケガの原因になります。
 <p>禁止</p>	次のものは乾燥させない 食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの付着した衣類は絶対に乾燥させないでください。 油の酸化熱による自然発火や引火の原因になります。	 <p>指示</p>	異常・故障時には、直ちに使用を中止する そのまま使用すると、火災・感電・けがの恐れがあります。
 <p>禁止</p>	取扱説明書に記載した用途以外には使用しない	 <p>指示</p>	使用前に布カバーを閉じるときは、次のことに注意する ・衣類などがファスナー部分にかかっていないか ・中に入れてはいけないものがないか ・衣類などを入れすぎていないか
 <p>禁止</p>	子供や介護の必要な方だけでは使わない、また、子供に遊ばせない 内部に閉じこめられたり、本体が倒れてけがややけど、感電の原因になります。	 <p>禁止</p>	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しない 感電・やけど・けがの原因になります。

⚠️ 注意

 <p>プラグを抜く</p>	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、先端の電源プラグを持って引き抜く 感電やショートして、火災の原因になります。	 <p>指示</p>	製品を運ぶときは、製品が十分に冷えていることを確認する また、組み立てた状態のまま移動させない けがややけどの原因になります。
 <p>プラグを抜く</p>	お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いておく 感電やけが・やけどの原因になります。	 <p>指示</p>	移動するときは運転を止め、タンク・本体内部の水を捨てる また、組み立てた状態のまま移動させない 水がこぼれて家財などを濡らしたり、水漏れの原因になります。
 <p>プラグを抜く</p>	使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。		

(注意つづき)

 <p>指示</p> <p>お手入れは冷めてから行う 高温部に触れ、やけどの原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>アロマオイルやアロマウォーター、香水、お湯などをタンクや本体へ入れない 故障や水漏れの原因になることがあります。</p>
 <p>指示</p> <p>タンクの水は常に新しい純水または水道水(飲用)を使用し、本体内部を定期的に清掃する 掃除せずに使用すると、汚れや水あかにより雑菌やカビが繁殖し、異臭の原因になります。 また、体質によっては健康を損なう恐れがあります。その場合は、医師にご相談ください。</p>	 <p>禁止</p> <p>衣類などのお手入れ以外の目的で使用しない 感電・火災の原因になります。</p>
 <p>禁止</p> <p>折り畳んだ状態で使用しない 故障の原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>落としたりぶつけたりしない 感電・発火の原因になることがあります。 また、床や家財などを傷める原因になります。</p>
 <p>禁止</p> <p>壁や家具の近くで使用しない 蒸気や熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>本体を持ち運ぶ際は左右のロックレバーをしっかりとロックし、ロックレバーに触れないようにして運ぶ また、組み立てた状態のまま移動させない 本体が開き、けがをする恐れがあります。</p>
 <p>禁止</p> <p>水のかかるところや火気の近くでは使用しない 感電・漏電の原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>本体を揺らしたり、本体にもたれたりしない 本体が倒れて、けがややけど、故障の原因になります。 また、水が漏れて家財などを濡らす原因になります。</p>
 <p>禁止</p> <p>不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない けがややけど、敷物を損傷する原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>本体内部に直接水を入れ また、水滴が落ちるような濡れた衣類などは本体内に入れない 故障・ショート・感電の原因になります。</p>
 <p>禁止</p> <p>ガソリン、ベンジン、シンナーなど、引火性のものの近くで使用しない 火災や故障の原因になることがあります。</p>	 <p>禁止</p> <p>カーペットやたたみなどのやわらかいものの上で使用しない 安全転倒スイッチが作動してエラー表示になります。</p>
 <p>禁止</p> <p>純水または水道水(飲用)以外は使用しない 井戸水や湧き水などを使用すると、不純物が付着して、故障の原因になることがあります。</p>	 <p>指示</p> <p>通気口からの蒸気に注意する 運転中、または運転直後は通気口から蒸気が出ることもあり、誤って触れるとやけどの原因になります。</p>

使用上のお願い・知っておいていただきたいこと

■ 本製品の機能は衣類の乾燥です。しわを完全に伸ばしたり、汚れを落としたりすることはできません。

■ 本製品は家庭用です。業務用の用途に使用しないでください。

故障の原因になります。

■ 室温や湿度などの周囲環境により、乾き具合は異なります。

室温が低い、あるいは湿度が高いときなどは運転時間を調整してください。

■ ドライ運転中は本体内で風を循環させて乾燥させるため、布カバーがやや膨らみます。無理な力でへこませたり、子供に遊ばせたりしないでください。

■ 初めて使用するときには、においが出る場合があります。

異常ではありません。安心してご使用ください。使用にともない出なくなります。

■ 本体にタンクを設置するときや、お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 製品を収納する際は、電源プラグをコンセントから抜き、本体内部の水を捨ててください。

■ タンクに純水または水道水（飲用）以外はいれしないでください。

井戸水・湧き水・市販のミネラルウォーターなどを使用すると、雑菌の繁殖や不純物が本体内部やタンクに付着して、故障の原因になります。また、タンクにお湯やアロマオイル・アロマウォーター・香水・アルコール類などを入れると、タンクの変形や破損による水漏れや故障、異臭の原因になります。

■ 運転時の製品内部の温度は、ご使用の環境、周囲の温度により異なります。

(例：周囲の温度が25℃のとき、スチーム運転時60℃前後、ドライ運転時70℃前後になります)。
※ 吹き出し口付近はこれよりさらに高温になります。

■ タンクや本体内部のお手入れに、塩素系・酸性タイプの漂白剤や洗剤は使用しないでください。

洗剤が残り、有毒ガスが発生する原因になります。

■ お手入れをせずにお使いになると、汚れや水あかにより雑菌やカビが繁殖し、異臭が発生したり、健康を損なう恐れがあります。また、性能の低下や故障の原因になりますので、こまめにお手入れをしてください。

「お手入れのしかた」(P.16～P.19)を参照してください。

■ 着物・皮革製品・ダウン・シルク・ベルベットなどのデリケートな素材やビニール製品・糊付けされた衣類などには使用しないでください。

■ カシミア・アンゴラ・アルパカ・ウールなどは混用率又は素材により縮んだり、損傷する恐れがあります。

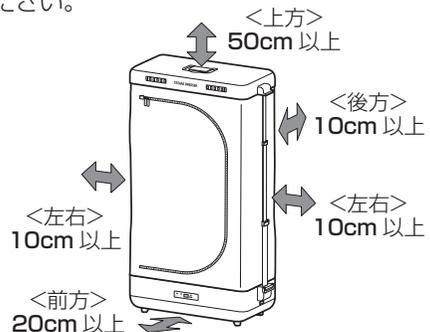
■ 衣類に「スチーム禁止」などの表示があるときは、その指示に従ってください。

■ 洗濯した布地に洗剤や汚れが残っていると、熱で布地が茶色に変化することがあります。

よくすすぎ、乾燥させてから使用してください。

■ 設置場所について

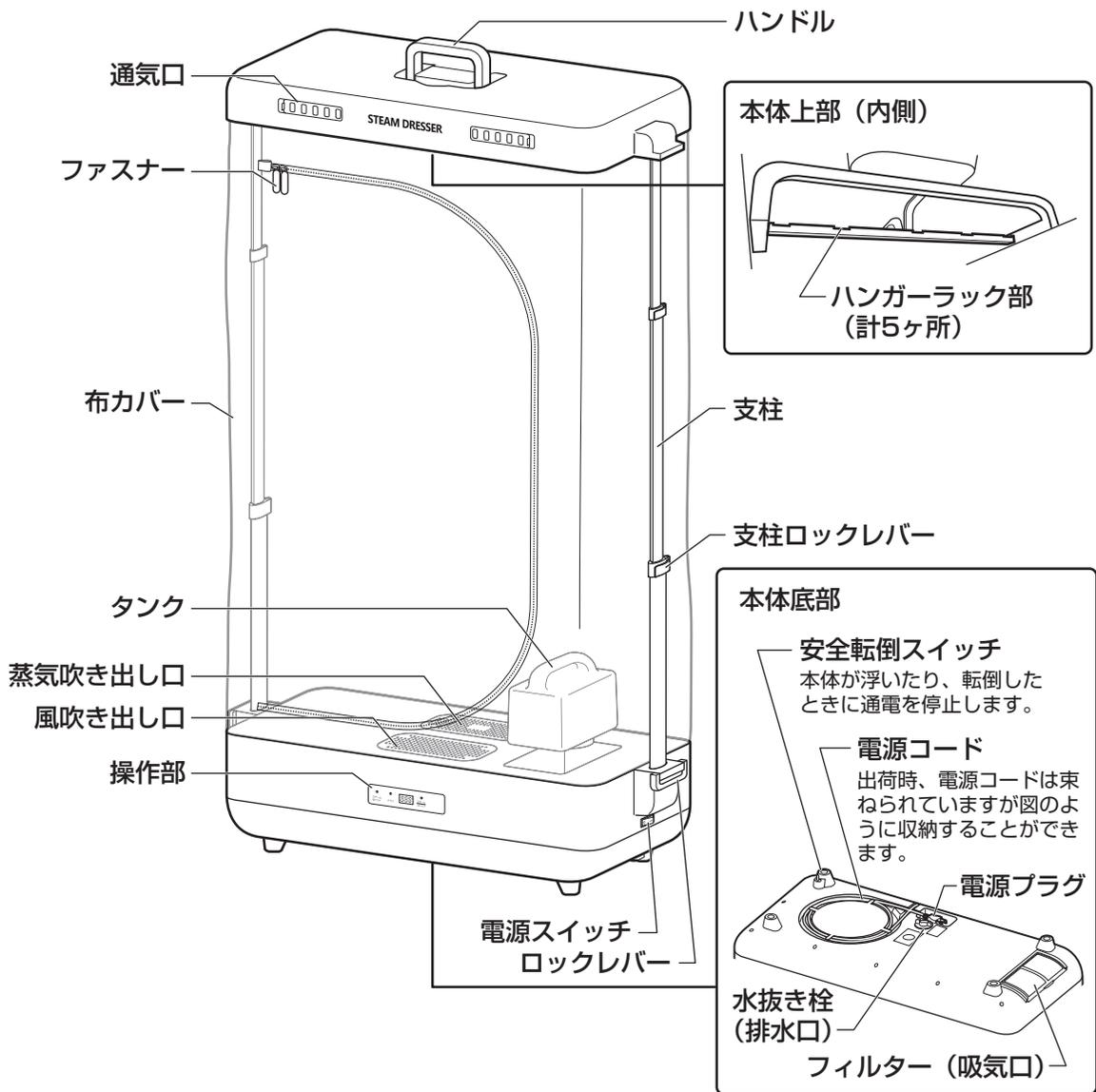
壁や家具など周囲から下図のように離して使用してください。



本体内部やタンクの水滴について

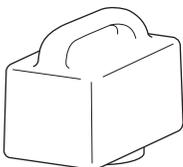
本体内部・タンク内部に水滴がついている場合がありますが、スチーム検査をしてお届けしているためです。安心してご使用ください。

各部のなまえ

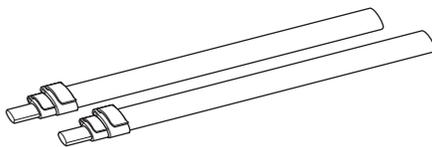


付属品

●水タンク (1個)



●支柱 (2本)

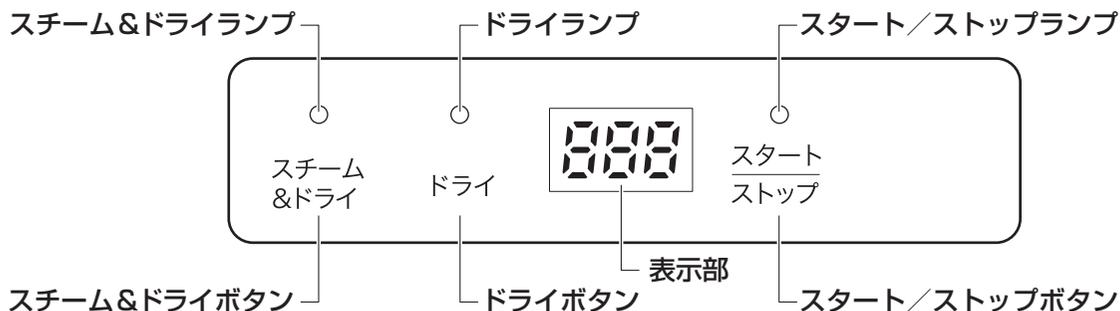


●掃除ブラシ (1本)



各部のなまえ

操作部



操作部について

本製品の操作ボタンはタッチセンサー式を採用しているため、軽く触れるだけで操作できます。操作の際は、必ず指の腹でタッチしてください。指先などでタッチすると反応しない場合があります。

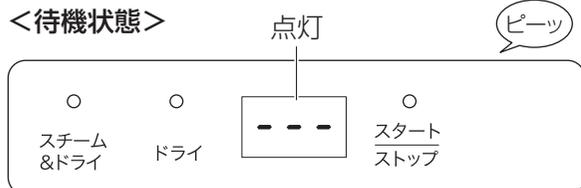
ご注意

誤って操作部に触れないようご注意ください。

待機状態について

電源スイッチをオンにすると「ピーツ」と音が鳴り、表示部に「- - -」が表示され、待機状態になります。

<待機状態>



操作モードについて

スチーム&ドライモード

高温のスチームで衣類のにおいを軽減しその後乾燥を行うモードです。

※ タンクに水を入れて使用します。

【6】・【10】・【20】・【25】(分)の4つからお好みのコースを選びます。

コース	スチーム運転	ドライ運転
【6】(お急ぎコース)	3分 +	3分
【10】(通常コース)	5分 +	5分
【20】(しっかりコース)	8分 +	12分
【25】(じっくりケアコース)	10分 +	15分

ドライモード

衣類の乾燥のみを行うモードです。

※ タンクに水を入れる必要はありません。

【30】・【60】・【90】・【120】・【180】・【240】(分)の6つからお好みのコースを選びます。

ご注意

ドライモードで240分以上連続して運転することはできません。

240分間使用した後は、30分以上時間をあけてから再度使用してください。

組み立てかた

1 本体を裏返し、底部の水抜き栓がしっかり閉まっていることを確認します。

右図の方向に回して締め付け、しっかり閉まっているか確認します。

※締め付けがゆるいと水漏れの原因になります。

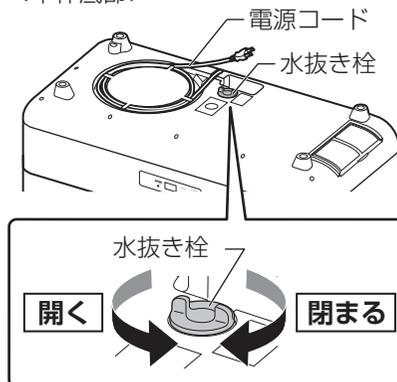
電源コードを本体底部に巻きつけて収納されている場合は、組み立てる前に電源コードを収納部から解いてください。

ご注意

タンクの水・本体内部の水が残っていると水漏れします。

予め水を抜いてください。

<本体底部>



2 左右のロックレバーを外します。

本体を元の状態にし、左右のロックレバーを外します。



3 支柱2本を伸ばし、支柱差込部【下】に差し込みます。

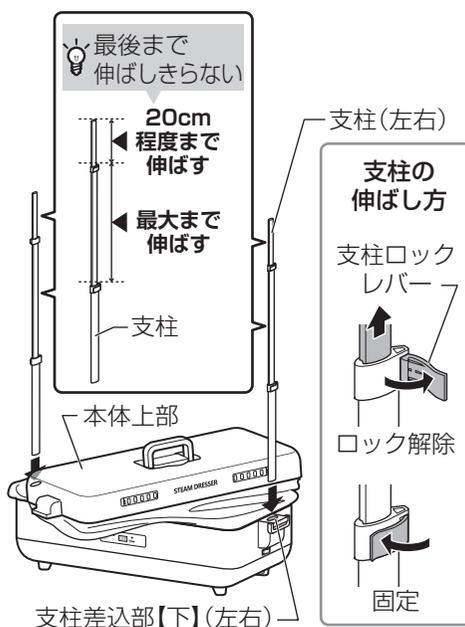
ハンドルを持って本体上部を図のようにやや斜めにずらして置きます。(支柱差込部【下】が見えるように置いてください。)

伸ばした支柱2本を支柱ロックレバーが外側になる向きで支柱差込部【下】に奥まで差し込みます。

ご注意

支柱を伸ばす際は、支柱で指を挟まないようご注意ください。

けがの原因になります。

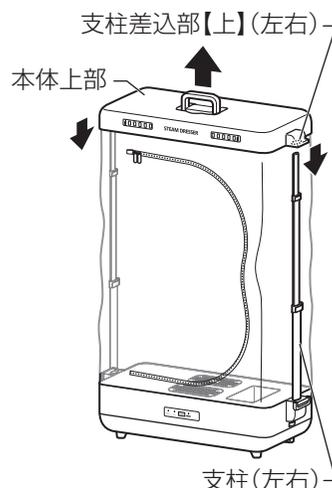


組み立てかた

4 本体上部を持ち上げ、支柱差込部【上】に支柱を差し込みます。

ご注意

本体上部は重さがあります。
落とさないよう注意して引きあげてください。
落下し、けがや故障の原因になります。



5 支柱を左右交互に少しずつ伸ばします。

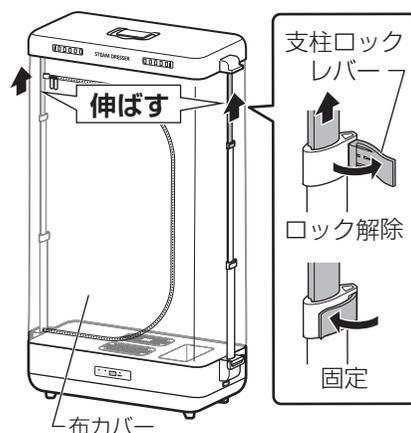
布カバーがピンと張った状態になるまで、左右交互に支柱を伸ばして支柱ロックレバーを固定します。

ご注意

支柱を伸ばす際は、支柱で指を挟まないように
ご注意ください。
けがの原因になります。

Point

- 本体上部が水平になるよう左右交互に調節する。
- 布カバーがピンと張った状態になるまで支柱を上
に伸ばす。



使いかた

ご使用前の準備

1 衣類などに付いている洗濯表示(取扱表示)を確認します。

本製品を使用することが可能か、また使用可能なモードを確認してください。



使用をおすすめしないもの

判断の目安として、以下の表示があるものは本製品を使用することをおすすめしません。素材の種類により、生地が縮んだり傷んだりする恐れがあります。

	洗濯処理はできない		日陰でのぬれ平干し乾燥がよい	
	低い温度でのタンブル乾燥ができる(排気温度上限60℃)		アイロン仕上げ禁止	
	タンブル乾燥禁止		通常の処理	パークロロエチレンおよび記号Fの欄に規定の溶剤でのドライクリーニング処理ができる
	平干し乾燥がよい		弱い処理	
	日陰での平干し乾燥がよい		通常の処理	石油系溶剤(蒸留温度150℃~210℃、引火点38℃~)でのドライクリーニング処理ができる
	ぬれ平干し乾燥がよい		弱い処理	

ご注意

その他でも、衣類の素材や素材の種類などにより、本製品での使用可否は異なります。お客様ご自身による確認と判断の上、本製品をご使用ください。

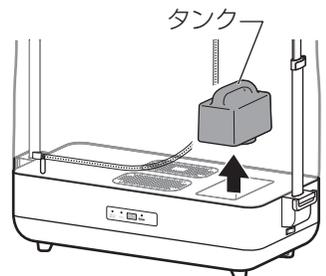
2 タンクに水を入れ、本体にセットします。(スチームモード使用時のみ)

水抜き栓がしっかり閉まっていることを確認してください。(P.8 参照)

はじめてご使用になるときは、タンクに水道水を入れ、タンクキャップを締めて振り洗いを行ってから使用してください。

※タンクには最大水量(1200ML)の目盛り以上に水を入れないでください。

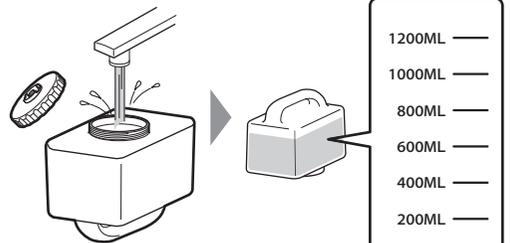
※初めてお使いになるときなど、本体内の水が空の状態のときは、タンクをセットしてから本体内部に水が入るまで約10分程度待ってから電源を入れてください。



ご注意

純水または水道水(飲用)以外は入れないでください。

故障の原因になります。



使いかた

3 ハンガーラックに衣類を掛けます。 ※最大5着(1kg)まで

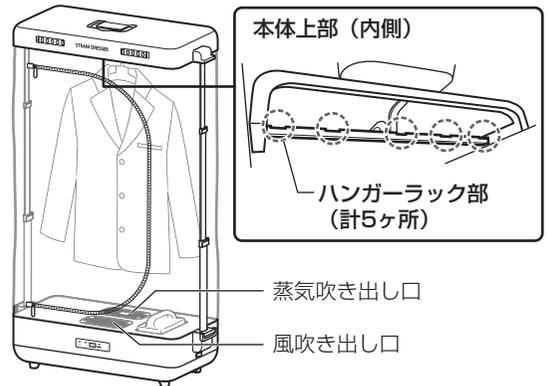
衣類をハンガーに掛け、ハンガーラックにセットします。

お願い

- 衣類のポケットの中を確認し、中のものをすべて取り出してください。
- 前または後のどちらか一方に重さが片寄らないよう、バランスよく衣類を掛けてください。
- 蒸気吹き出し口、風吹き出し口を衣類で覆わないよう、吹き出し口から上方20cm程度離してください。
- 合計重量が 1kg を超えないよう注意してください。

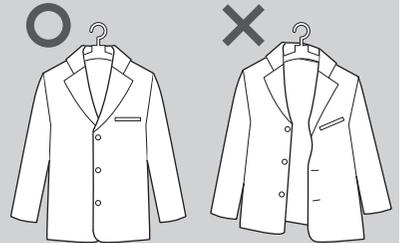
枚数の目安	
コート	2着
ジャケット	3着
シャツ	5枚

※ 素材や種類により異なります。



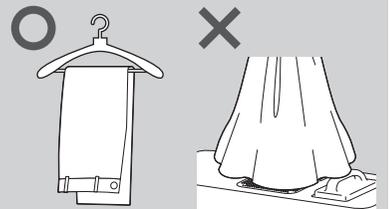
ご注意

- ボタンやファスナーのある服は、ボタンやファスナーを閉じた状態でハンガーにかけてください。また、重さの重い衣類は中央部に掛けてください。運転中に落下、転倒し、正常な運転の妨げになります。



- 服などは必ず固定し、落下しないようにしてください。吹き出し口付近は高温になるため衣類が傷む恐れがあります。

- ズボンやロングスカートなどの丈の長いものは、蒸気吹き出し口・風吹き出し口にかからないよう、たたんだ状態で入れてください。運転中に吹き出し口を覆い、正常な運転の妨げになります。吹き出し口付近は高温になるため衣類が傷む恐れがあります。



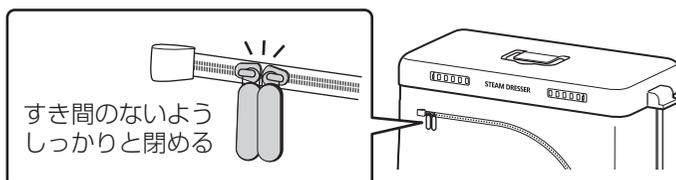
- 木製のハンガーは使用しないでください。内部の温度が高くなりますので、ハンガーや衣類が傷む原因になります。

4 布カバーのファスナーをしっかりと閉めます。

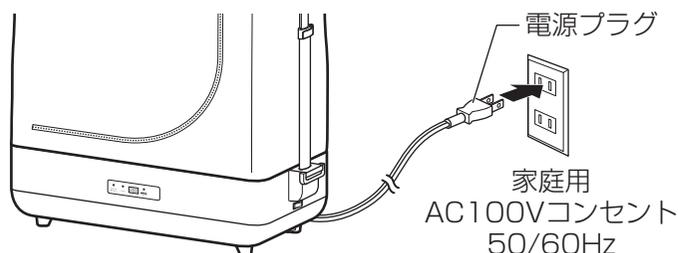
ファスナーがしっかりと閉じられていないと、すき間から高温のスチームや温風が漏れ出しますのでしっかりと閉じてください。

ご注意

人やペットなどは絶対に中に入らないでください。



5 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込みます。

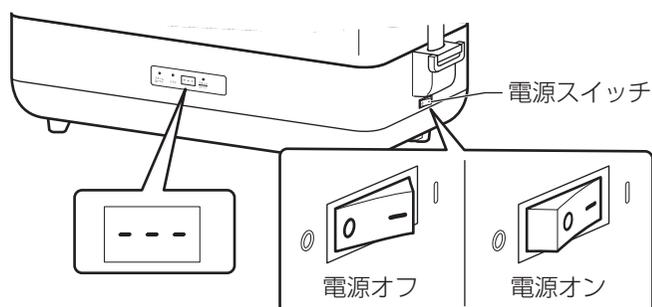


6 本体下部の電源スイッチをオンにします。

電源スイッチをオンにすると、「ピッ」と音が鳴り、全てのランプが点灯した後、表示部に「- - -」が表示され、待機状態になります。

ご注意

運転中、または待機状態のときに本体を移動させないでください。安全転倒スイッチが作動し、エラー表示「EO」が点灯して運転を停止します。



7 お好みのモードで運転します。

- スチーム&ドライモードで使う (P.13 参照)
- ドライモードで使う (P.15 参照)

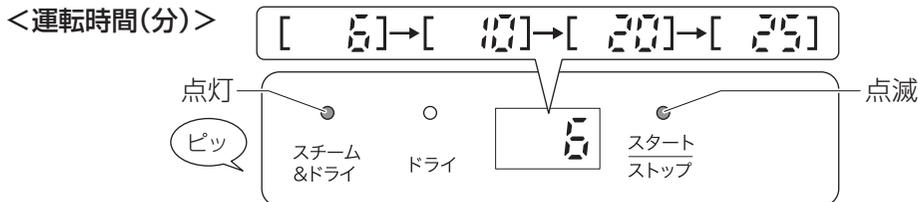
使いかた

■ スチーム&ドライモードで使う

※ スチーム&ドライモードについて (P.7「操作モードについて」参照)

1 スチーム &ドライ を押して運転時間を選びます。

押すたびに「ピッ」と音が鳴り、表示部が「6」→「10」→「20」→「25」の順に切り替わります。



ご注意

必ずタンクに水を入れて使用してください。(P.10「ご使用前の準備」参照)
水を入れずにスチーム&ドライモードを使用した場合、しばらくするとエラー表示「E1」(渴水エラー)が出て運転を停止します。

※ 初めてお使いになるときなど、本体内部の水が空の状態のときは、タンクをセットしてから本体内部に水が入るまで約 10 分程度待ってから電源を入れてください。

※ 満水 (1200ML) で約 3~5 回程度運転できます。(運転時間により異なります。)

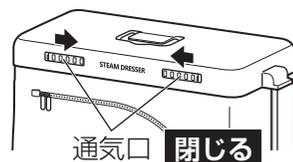
※ ボタンを押してから何も操作せずに 5 分経過すると「ピーッ」と音が鳴り、待機状態に戻ります。

2 スタート ストップ を押します。

「ピーッ」と音が鳴り、選択した運転時間でスチーム&ドライ運転が始まります。
表示部に残り時間が表示されます（分単位）。

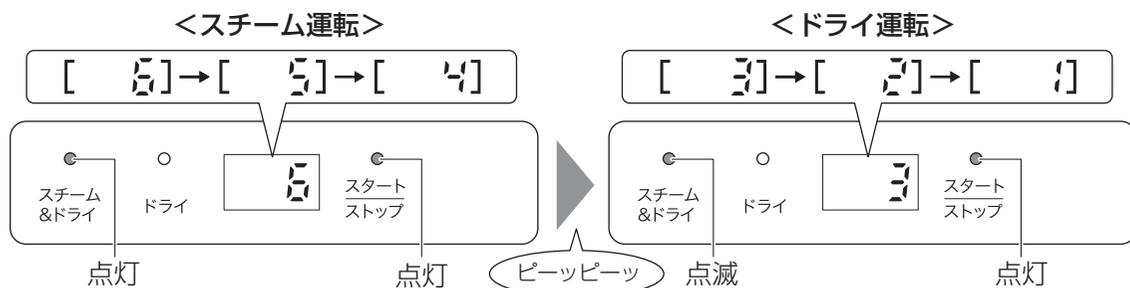
●スチーム&ドライモード中は通気口を閉じてください。

コース	スチーム時間	+	ドライ時間
【6】（お急ぎコース）	3分	+	3分
【10】（通常コース）	5分	+	5分
【20】（しっかりコース）	8分	+	12分
【25】（じっくりケアコース）	10分	+	15分



スチーム運転中、沸騰音がする場合がありますが異常ではありません。

(例)【6】を選んだ場合



スチーム運転が終了すると「ピーッピーッ」と音が鳴り、自動でドライ運転に切り替わります。

ご注意

- ・運転中は本体内が大変熱くなります。
- ・ペットやお子様などが中へ入ったり、布カバーを開けたりしないようご注意ください。
- ・ドライ運転中は本体内で風を循環させて乾燥させるため、布カバーがやや膨らみます。

運転が終了すると「ピーッ」と音が鳴り、待機状態に戻ります。

運転を中止したいとき

スタート ストップ を押します。

「ピーッ」と音が鳴り、表示部に「- - -」が表示され、待機状態に戻ります。

※待機状態になった後も、しばらくはファンなどの動作音がすることがあります。

ご注意

布カバー内部は熱くなっている
のでご注意ください。

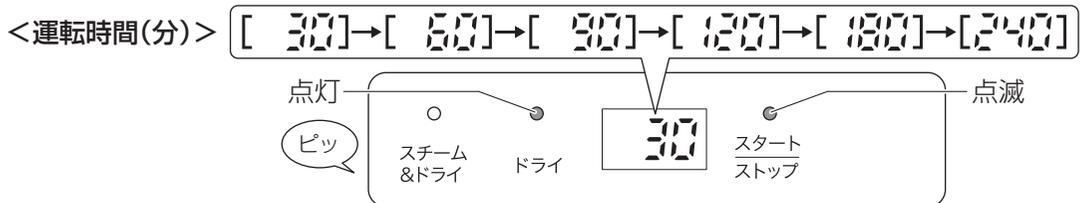
使いかた

■ドライモードで使う

※ ドライモードについて (P.7「操作モードについて」参照)

1 ドライ を押して運転時間を選びます。

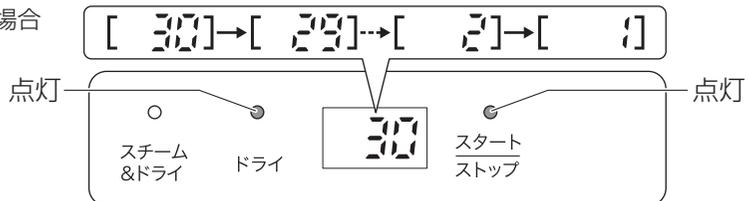
押すたびに「ピッ」と音が鳴り、表示部が「30」→「60」→「90」→「120」→「180」→「240」の順に切り替わります。



2 スタート ストップ を押します。

「ピーッ」と音が鳴り、選択した運転時間で運転が始まります。表示部に残り時間が表示されます (分単位)。

(例)【30】を選んだ場合



ご注意

- ・ 運転中は本体内が大変熱くなります。
- ・ ペットやお子様などが中へ入ったり、布カバーを開けたりしないようご注意ください。
- ・ ドライ運転中は本体内で風を循環させて乾燥させるため、布カバーがやや膨らみます。

運転が終了すると「ピーッ」と音が鳴り、待機状態に戻ります。

運転を中止したいとき

スタート ストップ を押します。

「ピーッ」と音が鳴り、表示部に「- - -」が表示され、待機状態に戻ります。

※ 待機状態になった後も、しばらくはファンなどの動作音がすることがあります。

ご注意

布カバー内部は熱くなっている
のでご注意ください。

お手入れのしかた

⚠️ 注意



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、本体を1時間程度冷ましてから行う。

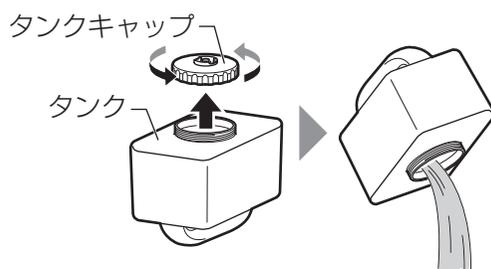
運転直後は本体内部から熱湯が出て、やけどの恐れがあります。

■ 通常のお手入れ

1 タンク内の水を排水します。

タンクを本体から取り出し、タンクキャップを外して残りの水を排水します。

※ タンクやタンクキャップの洗浄のしかたは P.18～P.19「各部のお手入れ」を参照してください。



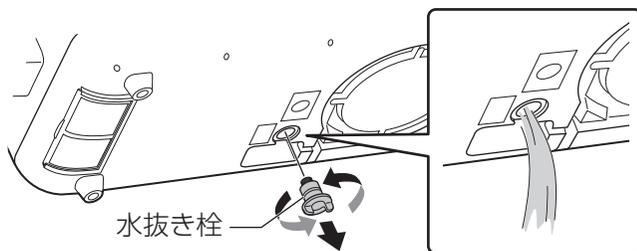
2 本体を折り畳んだ状態にしてから (P.20「収納のしかた」参照) 本体内の水を排水します。

浴室やバケツなどの上で本体を右図のように傾け、水抜き栓を外して本体内の水を排水します。

ご注意

排水の際は本体を裏返しにしないでください。

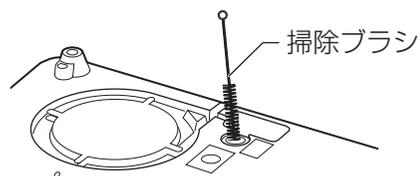
水漏れや本体内部への水の浸入による故障の原因になります。



3 排水口を付属のブラシでお手入れします。

本体を裏返しにし、排水口をブラシでお手入れします。その後、きれいなタオルなどで汚れをふき取ったあと、水抜き栓をしっかりと閉めます。

※ 排水口の洗浄のしかたは P.18～P.19「各部のお手入れ」を参照してください。



ご注意

掃除ブラシを強く押し当てたりしないでください。破損の原因になります。

お手入れのしかた

■汚れやおいが気になるときは

1 クエン酸水を作り、タンクに入れます。

タンクに水 400ML とクエン酸（小さじ 2 杯程度）を混ぜて入れます。

ご注意

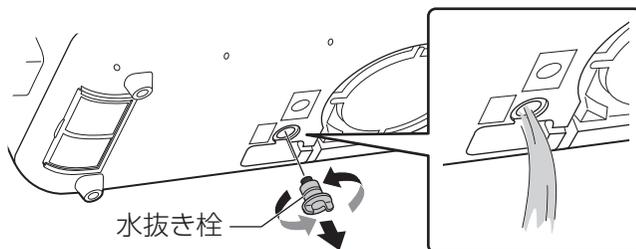
- ・クエン酸を小さじ 2 杯以上入れないでください。
- ・クエン酸水を作るときは、必ず水道水（飲用）をご使用ください。

2 タンクを本体にセットします。

クエン酸水の入ったタンクを本体にセットします。
本体内部にクエン酸水が行き渡るように、そのまま 6 時間ほど放置します。

3 本体を折り畳んだ状態にしてから（P.20「収納のしかた」参照） 本体内のクエン酸水を排水します。

タンクを取り出し、本体を折り畳んでから浴室やバケツなどの上で本体を傾け、水抜き栓を外して本体内の水を排水します。
排水後、水抜き栓をしっかりと閉めます。



ご注意

排水の際は本体を裏返しにしないでください。

水漏れや本体内への水の浸入による故障の原因になります。

4 スチーム運転をします。

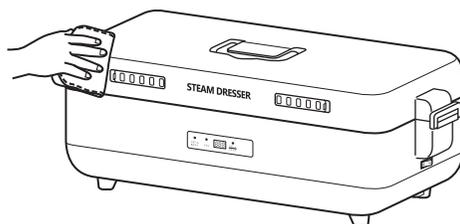
タンクをゆすいでから新たに水道水約 1000ML を入れ、スチーム&ドライモード【25】（じっくりケアコース）で運転を行います（P.13「スチーム&ドライモードで使う」参照）。その後、通常のお手入れと同様の手順でお手入れを行ってください（P.16「通常のお手入れ」参照）。

■各部のお手入れ

本体・本体内側（蒸気吹き出し口・風吹き出し口）

水で濡らし、固く絞った柔らかい布で拭いてください。

- 本体の水洗いは絶対にしないでください。
- 洗剤やシンナー・ベンジン・みがき粉などは使用しないでください。キズ・変色の原因になります。
- タンク収納部にゴミや異物が詰まっていないか確認してください。水漏れの原因になります。



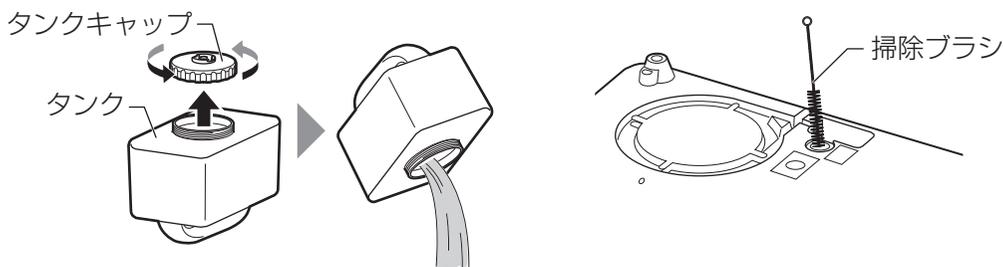
布カバー

水で濡らし、固く絞った柔らかい布で拭いてください。

タンク・排水口

タンクに水道水（飲用）を入れ、底部キャップを締めて振り洗いしてください。

- 洗剤やシンナー・ベンジン・みがき粉などは使用しないでください。キズ・変色の原因になります。
- お手入れせずに使用すると、汚れや水あかにより、赤カビの発生や異臭の原因になります。
- タンクキャップのパッキンにゴミや異物が詰まっていないか確認してください。水漏れの原因になります（P.19「タンクキャップ」参照）。
- 水道水（飲用）の水質が硬い場合、タンク・排水口にスケール（水中のカルシウムやマグネシウムが析出した白いもの）が溜まりやすくなります。2、3回に1回を目安に付属の掃除ブラシでお手入れし、水洗いした後よく乾燥させてください。



お手入れのしかた

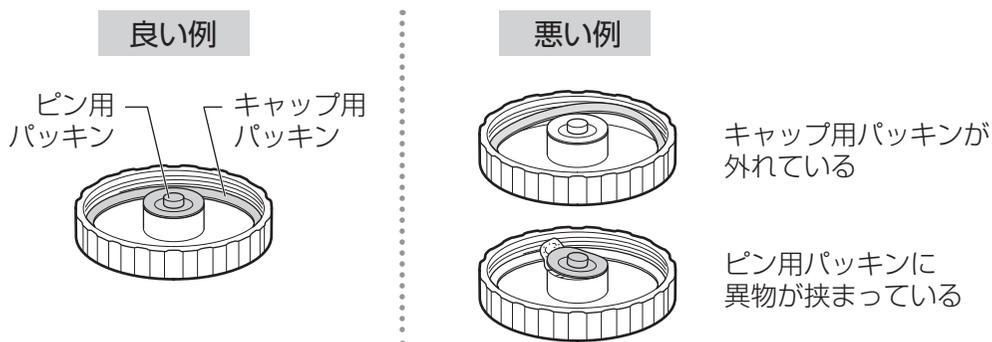
タンクキャップ

タンクキャップの汚れが気になるときは、以下の方法で分解してお手入れしてください。

- キャップ用パッキンはつまようじなどを使用して取り外してください。
- ピン用パッキンは、ピンを底部キャップの表側から押し上げながら取り外してください。

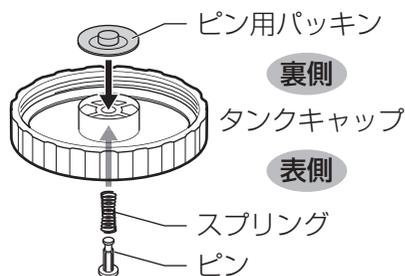
タンクキャップ裏側からピン用パッキン・キャップ用パッキンを取り外し、各部をやわらかいブラシなどでやさしく洗い、内部の汚れを水で洗い流す

お手入れ後、底部キャップ裏側のパッキン（ピン用・キャップ用）を正しくセットしてから、底部キャップをタンクに取り付ける



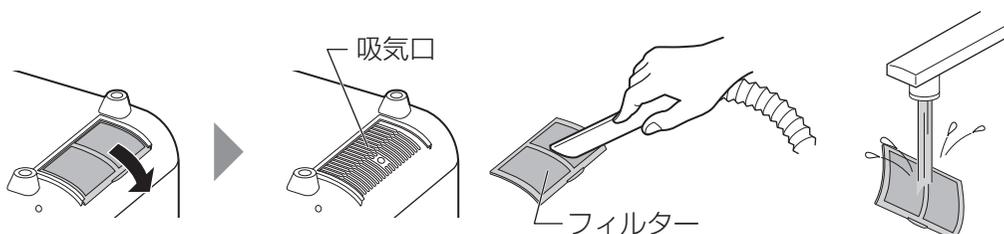
ピン用パッキンの取り付けかた

- ① ピンにスプリングをつけた状態で、底部キャップの表側から差し込みます。
- ② ピンを底部キャップの表側から押し上げながら、タンクキャップの裏側からピン用パッキンを取り付けます。



フィルター・吸気口

本体裏側からフィルターを矢印の方向にスライドさせて取り外し、フィルターや吸気口に付着したホコリなどを掃除機で取り除いてください。また、フィルターはやわらかいブラシなどでやさしく水洗いしてください。水洗いしたあとは、よく乾燥させてください。



収納のしかた

- 収納の前に、必ず「通常のお手入れ」手順1～2（P.16）を参照して、タンクおよび本体内の水を排水してください。

⚠️ 注意

お手入れ後、水分を十分乾燥させてから収納する。

汚れや水分が残ったまま保管すると、悪臭やカビなどが発生する原因になります。

1 支柱の上部を少しずつ交互に縮めます。

本体上部のハンドルを持った状態で左右の支柱ロックレバーを解除し、バランスをみながらゆっくりと支柱を縮めます。支柱が縮みきった位置で支柱ロックレバーを固定します。

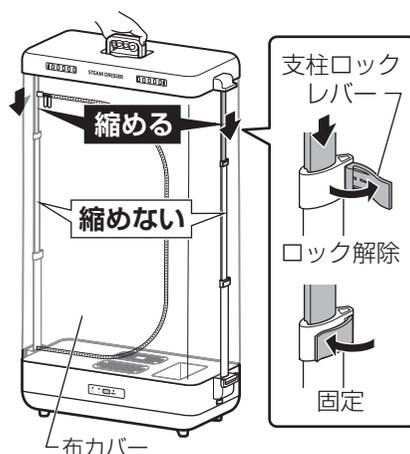
ご注意

支柱を縮める際は、支柱で指を挟まないようにご注意ください。

けがの原因になります。

Point

- 本体上部が片側に大きく傾かないよう、左右のバランスを見ながら支柱を縮ませる。



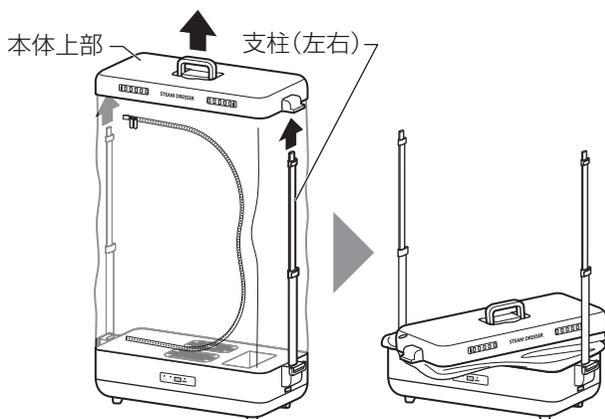
2 本体上部を持ち上げ、支柱から取り外します。

支柱を手で軽く押さえながら、ハンドルを持って本体上部を左右の支柱から取り外し、図のようにやや斜めにずらして置きます。

ご注意

本体上部は重さがあります。落とさないよう注意して引きあげてください。

落下し、けがや故障の原因になります。



収納のしかた

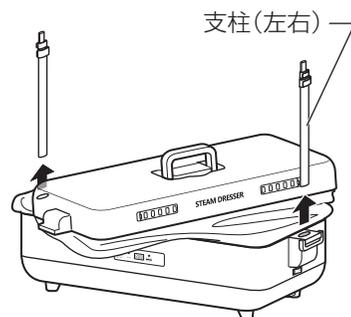
3 支柱2本を取り外します。

支柱2本を縮ませて、本体下部から取り外します。

ご注意

支柱を縮める際は、支柱で指を挟まないように
ご注意ください。

けがの原因になります。



4 左右のロックレバーをロックします。

本体上部がしっかり閉まるように、布カバーを折り畳んで本体内側に収納し、左右のロックレバーをロックします。

ご注意

布カバーを挟んだ状態でロックしないよう
ご注意ください。

また、支柱は本体内部には収納できません。

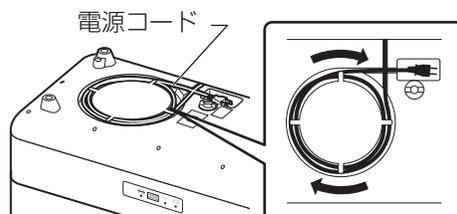


Point

- 布カバーのファスナーは空気が入らないように少し開けておくと、本体内部に収納しやすくなります。

5 (本体内部やタンクに水が残っていないことを確認してから) 本体を裏返し、電源コードを収納します。

本体底部の溝に沿って矢印の方向に巻き付け、電源コード・電源プラグを収納します。



保管のしかた

⚠️ 注意

お手入れ後、水分を十分乾燥させてから保管する。

汚れや水分が残ったまま長期間保管すると、悪臭やカビなどが発生する原因になります。

- タンクと本体内部の水を排水して、陰干しで十分乾燥させてください。
- 取扱説明書と一緒にご購入時の箱に入れるか、ポリ袋などをかぶせ、高温・多湿の場所を避け、保管してください。また、上に重いものを置かないでください。



故障かな？と思ったら

こんなときは？	確認してください！！
電源を入れても動かない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグが抜けていませんか？ → 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 ・電源スイッチはオンになっていますか？ → 本体下部右側面の電源スイッチをオンにしてください。
運転が自動的に停止する	<ul style="list-style-type: none"> ・設定時間が経過していませんか？ → 設定時間経過後は自動停止するため異常ではありません。 ・蒸気吹き出し口、風吹き出し口に異物が詰まっていたり、衣類でふさがれたりしていませんか？ → 異物・衣類を取り除き、再度電源を入れ直してください。 ・タンクに水が入っていますか？
衣類がなかなか乾燥しない	<ul style="list-style-type: none"> ・脱水していない衣類を乾燥させていませんか？ → 脱水済みの衣類をご使用ください。 ・生地の高い衣類、または乾燥させる衣類の量が多くありませんか？ → 一度に乾燥できる衣類の量は5着までです。 ・蒸気吹き出し口、風吹き出し口に異物が詰まっていたり、衣類でふさがれたりしていませんか？ → 異物・衣類を取り除き、再度電源を入れ直してください。
運転中に運転が停止する	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気吹き出し口、風吹き出し口が覆われていませんか？ → 異物や各吹き出し口を覆っているものを取り除き、再度電源を入れ直してください。 ・タンクに水が入っていますか？ ・フィルター（吸気口）が目詰まりしていませんか？ → フィルターのお手入れをしてください（P.19 参照）。
電源を切ってもモーター音や送風がしばらく続く	<ul style="list-style-type: none"> ・電源を切った後も、約 1 分間ファンやモーターは動作を続けますが、異常ではありません。
運転中に「ゴロゴロ」、「シュー」といった音がする	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気音で通常の動作音です。異常ではありません。 ・タンクに必要以上に水を入れていませんか？ ・タンクに水が入った状態で本体を動かしたり、蒸気吹き出し口に水がこぼれたりしていませんか？ → 水が必要以上にヒーターに入ってしまった場合、沸騰音が大きくなります。しばらく運転を続けると音はなくなりますが、15分以上改善されないときは、お買い上げの販売店または裏表紙に記載のアルファックス・コイズミ株式会社「お客様サービス窓口・修理受付」にご連絡ください。
衣類のしわが伸びない	<ul style="list-style-type: none"> ・本製品にはしわを伸ばす機能はありません。
衣類がおう	<ul style="list-style-type: none"> ・タンクや本体のお手入れを行った後（P.16～P.19 参照）、水道水をタンクに入れ、スチーム&ドライコースで【6】を選択し、内部に衣類を入れずに2回以上運転させてください。

こんなときは？	確認してください！！
<p>警告音が鳴って、運転が停止する (表示部に「E0」「E1」「E2」「E3」が表示されている)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表示部に「E0」が点灯しているとき → 安全転倒スイッチが作動しました。 製品が傾いたり、やわらかいものの上で使用していませんか？ いったん電源を切り、水平で安定した場所に設置してから再度運転してください。 ・表示部に「E1」が点灯しているとき → タンクおよび本体内の水が空です。 いったん電源を切り、タンクに純水または水道水（飲用）を入れてセットし、再度運転してください。 ・表示部に「E2」、「E3」が点灯しているとき → センサーの不具合が考えられます。お買い上げの販売店または裏表紙に記載のアルファックス・コイズミ株式会社「お客様サービス窓口・修理受付」にご連絡ください。

仕様

電源	AC100V 50/60Hz	
消費電力	スチーム時	1,200W
	ドライ時	630W
温度ヒューズ	スチーム時	216℃
	ドライ時	98℃
本体寸法	収納時	約 760 (幅) × 300 (奥行) × 260 (高さ) mm
	組み立て時	約 760 (幅) × 300 (奥行) × 1,460 (高さ) mm
安全装置	過熱保護器 (2)、過電流保護、安全転倒スイッチ	
最大容量	5着 (約 1kg)	
本体重量	約 11.0kg	
コード長	約 1.7m	
生産国	中国	
付属品	タンク (1)、支柱 (2)、掃除ブラシ (1)	

- この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

別売品について

別売品のお求めは、お買い上げの販売店または裏表紙に記載のアルファックス・コイズミ株式会社「お客様サービス窓口・修理受付」にお問い合わせください。

別売品は弊社ホームページ（二次元コード）でもお買い求めいただけます。

- ・ 掲載サイトの閲覧は無料ですが、通信料金はおお客様のご負担となります。
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります。)
- ・ お使いのスマートフォンなどにより、正しく表示されない場合があります。



名称	価格 (税込)
タンク	2,200 円
フィルター	1,100 円
掃除ブラシ	220 円
水抜き栓	220 円
支柱 (1 本) ※	1,650 円

※ 2 本セットでご購入希望の方は、2 点お買い求めください。

- 上記価格に別途送料・代金引換手数料がかかります。

アフターサービスについて

1. 保証書

- ・ 保証書は、本書の裏面に添付されています。（※本書から切り離さないでください。）
- ・ 保証書はお買い上げの販売店で「お買い上げ日」と「販売店」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- ・ 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- ・ **保証期間内**
商品に本書（保証書）を添えて、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」にご連絡ください。保証の記載内容により、無料で修理いたします。
- ・ **保証期間が過ぎている**
お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。修理によって使用できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- ・ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ・ 「スチームドレッサー」の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

4. 長年愛用された製品の点検（★長年ご使用のスチームドレッサーの点検を！）

愛情点検	ご使用の際に、この様な症状がありませんか？	
	<ul style="list-style-type: none">●電源プラグや電源コードが異常に熱い。●電源コードに深いキズや変形がある。●コゲくさい臭いがする。●その他の異常、故障がある。	<p>一つでも該当する場合には→</p> <p>故障や事故防止のため、電源を切ってプラグをコンセントから抜き、必ず販売店または裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」にご相談ください。</p>

以上、アフターサービスについてのご不明点がございましたら、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「お客様サービス窓口・修理受付」までお問い合わせください。

個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は、当社個人情報保護方針に基づき、適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談／お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。

なお、この目的のためにアルファックス・コイズミ株式会社および関係会社で上記の個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに、適切な管理／監督をいたします。

【保証・無料修理規定】

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、アルファックス・コイズミ株式会社にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
- 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
- 出張修理は行っておりません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店、または、アルファックス・コイズミ株式会社にお問い合わせください。

スチームドレッサー ASD-1201 保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から、下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼してください。

品名／型番		スチームドレッサー / ASD-1201		
お買い上げ年月日 *		年	月	日
無料修理 保証期間	対象部分		期間（お買い上げ日より）	
	本体		1年	
お客様様	お名前 *		* 販売店	
	ご住所 *			
	TEL ()			

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

販売店の皆様へお願い

必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。

お客様サービス窓口・修理受付

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

【お客様サービス窓口】 ☎ **048-718-3336** 〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190
電話受付時間：平日9:00～17:00（土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く）

※修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店または「お客様サービス窓口・修理受付」に事前にご連絡ください。
※弊社への直接の返品はお受けしておりませんので、あらかじめご了承ください。返品につきましては、お買い上げの販売店にご相談ください。

アルファックス・コイズミ株式会社

<https://www.alphax.jp/>